



AVH-301

水稲用 中・後期 除草剤

農林水産省登録  
第24284号

# バーストープ

## 1キロ粒剤

# 白 の 衝 撃



ホタルイ



コナギ



ミスガヤツリ



イボクサ



オモタカ



アセナ



クサネシ



シスイ



ミスアオイ



三井化学クロップ&ライフ  
ソリューション株式会社

三井化学  
グループ

クロクワイ

# バイスコップ 1キロ粒剤



除草剤分類 33,27

- 農林水産省登録 第24284号
  - 有効成分：サイラ(シクロピリモレート)…2.0%  
テフリルトリオン…3.0%
  - 人畜毒性：普通物※
- ※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づき、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

○CYRA、サイラ、バイスコップは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標  
○CYRA、サイラはシクロピリモレートのブランド名です。

- ▶ **特長**
- ◆サイラ × テフリルトリオンの相乗効果による**強力な白化作用**で、**高葉齢の雑草**に対して高い枯殺力と残効が期待できる、新しいタイプの中・後期除草剤です。
  - ◆**オモダカ**、**コナギ**、**ミスアオイ**に特に高い効果を発揮し、**クログワイ**、**ホタルイ**、**シズイ**等のカヤツリグサ科雑草にも高い効果を示します。
  - ◆**イボクサ**、**クサネム**等の特殊雑草にも有効です。
  - ◆湛水散布、**ごく浅く湛水して散布**のどちらも可能です。
  - ◆ごく浅い湛水状態で、雑草が発生する箇所への**部分散布**が可能です。

☆ALS阻害剤に抵抗性のオモダカ、コナギ、ミスアオイ、ホタルイ等に対しても高い効果を示します。

▶ **適用雑草と使用方法**

2024年12月11日現在

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草(ノビエを除く) オモダカ、ホタルイ クログワイ、ウリカワ ミスガヤツリ ハラオモダカ、シズイ	移植後14～60日 ただし、収穫45日前まで	1kg	本剤 1回 シクロピリ モレート剤 2回	湛水散布、 ごく浅く湛水して散布 又は 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草(ノビエを除く) ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ	稲3葉期～出芽後60日 ただし、収穫45日前まで		テフリル トリオン剤 2回	

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

▶ **各種雑草の散布適期** (移植水稲の場合)

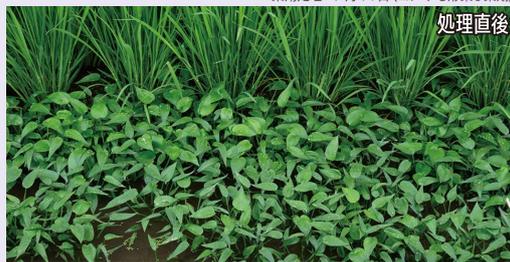
雑草名	葉数	草丈	雑草名	葉数	草丈	雑草名	葉数	草丈
オモダカ	矢じり葉 5葉期まで		コナギ	心形葉 3葉期まで		ミスアオイ	心形葉 1葉期まで	
クログワイ	草丈 15cmまで	↑ 15cm まで	ホタルイ	草丈 15cmまで	↑ 15cm まで	シズイ	草丈 20cmまで	↑ 20cm まで
イボクサ	草丈 20cmまで	↙ 20cm まで	クサネム	草丈 20cmまで	↑ 20cm まで	アゼナ	草丈 10cmまで	↑ 10cm まで
ウリカワ	7葉期まで		ミスガヤツリ	草丈 30cmまで	↑ 30cm まで	ハラオモダカ	ハラ葉 2葉期まで	

▶ **ノビエには効果が劣るため、ノビエに有効な除草剤との体系で使用して下さい。**

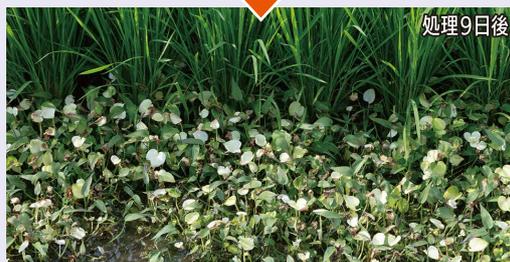
- 【**使用上の注意事項**】
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
  - 一年生雑草のうちノビエには効果が劣るため、ノビエに有効な移植または種前後の除草剤との体系で使用してください。
  - 生育期に入った雑草に効果がありますが、特に多年生雑草は生育段階によって効果がフレグが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。オモダカは矢じり葉5葉期まで、ホタルイ、クログワイは草丈15cmまで、ウリカワ(移植水稲)は7葉期まで、ウリカワ(直播水稲)は5葉期まで、ミスガヤツリ(移植水稲)は草丈30cmまで、ミスガヤツリ(直播水稲)は草丈20cmまで、ハラオモダカ(移植水稲)は草丈20cmまで、アゼナ(移植水稲)は草丈10cmまで、ミスアオイ(移植水稲)は心形葉1葉期までが本剤の散布適期です。
  - 散布に当たっては、水の出入りを止めてごく浅い湛水または通常の湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。本剤を浅水で散布した場合、その後の自然落水により田面に露出する期間が長引くと効果がフレグが出るおそれがあるため、散布後7日以内に再入水してください。
  - 本剤をほ場内の雑草が発生する箇所を対象に部分的に散布する場合は次の注意を守ってください。
  - ごく浅い湛水状態のまま雑草発生部およびその周囲部1m程度を含めた

- 部分に、散布する面積に応じた使用量(1㎡あたり1g)を均一に散布してください。
- 散布後3日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用してください。また、散布後3日以内の再入水はしないでください。
- 同一水田内で複数箇所散布を行う場合は、散布箇所が重ならないようにしてください。
- 本剤の使用回数については、散布部分に関わらず水田全体で1回と見なすため、同一水田内で複数箇所散布を行う場合は同日中に散布してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
- 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
- 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう注意してください。
- 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように散布してください。
- 稲の根が露出する条件下では葉害を生じるおそれがあるので、使用をさけてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び補付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 稲穂は必ず散布前に行ってください。

- 下記のような条件では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 砂質土壌の水田及び漏水水田(減水深2cm/日以上)
- 軟弱な苗を移植した水田
- 極端な浅溝の水田及び浮き苗の多い水田
- 処理後著しい高温が続く場合には、稲にクロロシスを生じる場合がありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 水稲に白化症状が認められる場合がありますが、その後は正常な葉が伸びてくるので生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。



処理直後



処理9日後



処理19日後

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ○容器・空袋などは農場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記載しましょう。  
\*本製品は農薬用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 \*本印刷物は2024年12月11日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまで測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。